

三、第三期 島尻移駐ヨリ戦斗開始迄 (自昭和二十年十二月十日 至昭和三十年三月二十日)

九、師團八第九師團(此部隊)ノ某方面ノ移動ニ伴ヒ島尻地区ニ移駐ヲ命
 七、師團八師團命令ニ基キ昭和十九年十二月十日山田附近ニ於テ第九師
 團與部隊ノ警戒備地区ヨリシ糸満地区ニ前進シ十二月廿三日宿舎地
 ノ偵察宿舎ノ構築並ニ陣地偵察ニ任セリ

十、師團命令ニ基キ偵察ノ結果聯隊ハ西地区防備隊トシテ左記要圖ノ
 如ク陣地ヲ決定シ昭和二十年一月一日ヨリ全方ヲ擧ゲテ陣地決戦ノ意氣ニ
 燃テ陣地構築ニ着手セリ

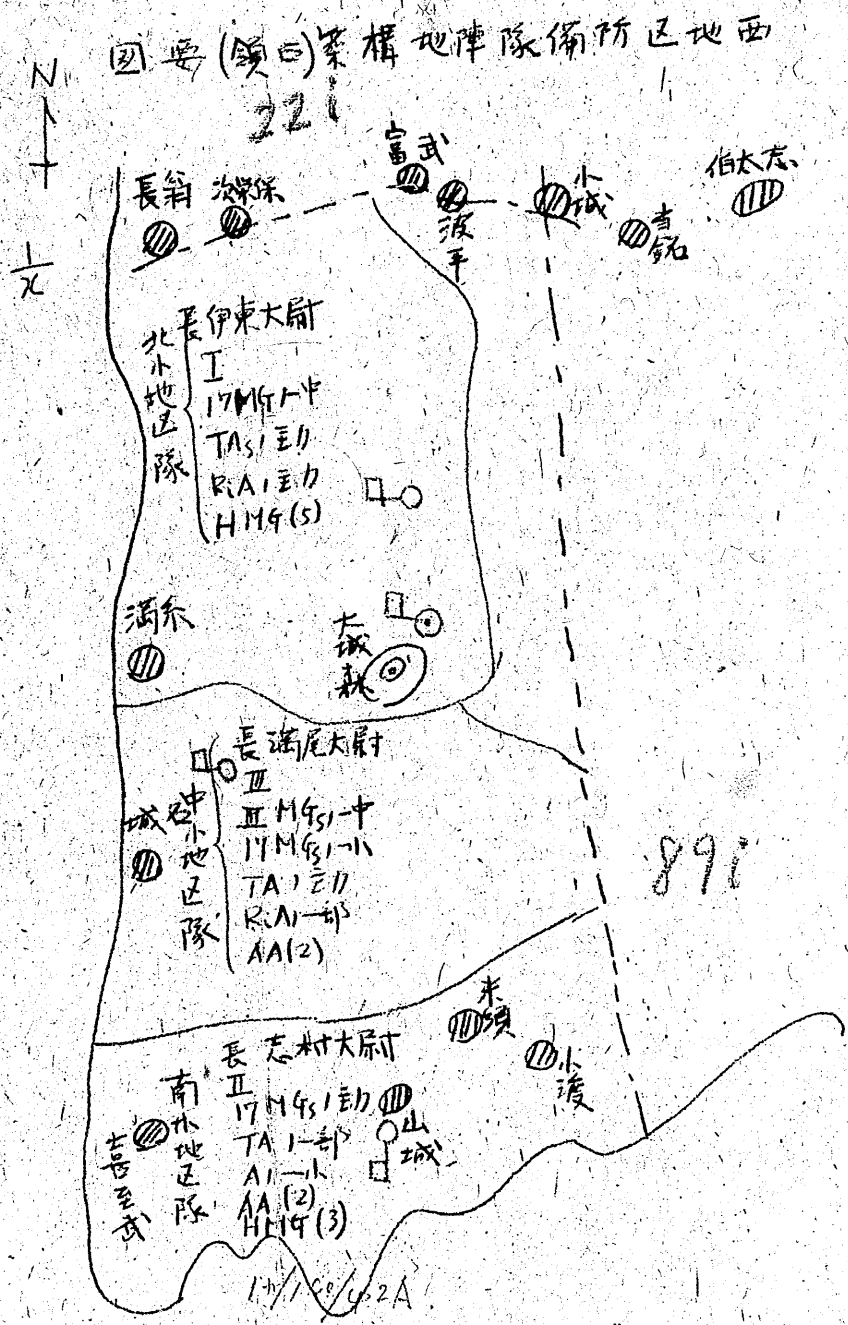
十一、十二月十日左記部隊配屬セラル

- 独立機関銃第三大隊(第三中隊欠)(長 金田少佐)
- 独立機関銃第十七大隊(第三中隊欠)(長 高島大尉)
- 独立連射砲第三大隊(第二中隊)(長 松井大尉)
- 野砲兵第四十二聯隊(第一中隊)(長 相田大尉)

十二、昭和二十年二月十日 師團八師團命令ノ編成改正ヲ行フ聯隊八師團命令ニ
 基キ左ノ編成ヲ改正ス

聯隊本部

- 第一大隊(長 伊東大尉)(中 三 中 中 小)
- 第二大隊(長 志村大尉)()
- 第三大隊(長 満尾大尉)()
- 聯隊砲中隊(長 三好大尉)



十四、西地区防備隊陣地占領(構築)左記要圖ノ如シ

独立機關銃第三大隊第一中隊、第二中隊、第一小隊
 聯隊砲一小隊
 獨立連射砲一小隊

中小地区隊(長 瀧尾大尉)

聯隊砲中隊(一小隊迄)
 獨立機關銃第十七大隊第三中隊
 獨立連射砲第三大隊第一中隊(一小隊迄)

第一大隊
 北小地区隊(長 伊東大尉)

十三、島尾地区ニ於ケル西地区防備隊ノ軍隊区分左ノ如シ

連射砲中隊(長 遠藤中尉)
 通信中隊(長 荻生中尉)
 註 MG中隊八指揮班、一小隊トシ、一小隊八回銃銃成トス
 第三大隊 BA 一小隊八迫撃砲トシ、九門砲成トス

十六、野砲中隊、其主力(三門)ヲ騎隊直轄トシテ系滿及照屋各一門、二門ヲ南小地区ニ配屬ス

又係也後
F上陸區系

十七、次ニ高射機関銃七門配屬セラレ其ノ五門ヲ北小地区隊ニ配屬系滿ニ三門ヲ騎隊ニ配屬ス

(伊東)

十八、更ニAA三小隊(四門)配屬セラレ二門ヲ中小地区隊ニ配屬大里南側地区ニ配置シ

二門ヲ南小地区隊ニ配屬小渡ニ配置シテ夫々對戰車對舟艇射撃ヲ任セシム
築城ハ將兵ノ奮斗努力ニ依リ極上テ順調ニ進捗シ他部隊ニ比シ優劣成績ヲ收メ
得タリ陣地決戦ノ標誌ハ能ク將兵ノ胆裏ニ刻印セラレタル結果也ナラズト信ス

十九、教育訓練ハ当初ニ於ケル陣地構築ノ不十分ト予想期間僅少ナリシ結果未当初
八陣地構築ノ進捗ニ應ジシ之ヲ利用スル訓練ヲ適時実施セシムト共ニ敵情漸次近
迫スルニ從ヒ敵情ニ応ズル如ク訓練日ヲ増減シ又各小地区隊及其他ノ部隊ニ向テ
予ヘシカ練成ヲ期シ概テ予期ノ成果ヲ挙げ得タリ

二十、其他敵情連絡以務兵醫經理衛生獸醫等各業務ハ各主任者ノ奮勵
努力ニ依リ頗ル良好ノ成果ヲ挙げ得タリ

一、第一期敵進攻初期ヨリ首里地区轉進時期迄(自昭和三十年三月二十三日)至同(四月二十二日)

二十一、昭和三十年三月二十三日敵ハ愈々本島ニ對シ多數ノ艦艇ヲ以テ進攻シ猛烈ニ艦
砲射撃ヲ實施スルト兵ニ燃烈ナル銃爆射ヲ開始ス系滿地区最モ燃烈ニシテ逐

次國吉真榮里名城嘉屋武米嶺附近ニ及ビ其ノ彈量ハ毎日極多量ニ上リ

地区隊ハ特ニ敵地上部隊上陸前ニ於ケル損害ヲ最小限ニ極限スル爲最善ノ努力ヲ
拂ヒ人員ハ勿論馬匹兵器彈藥糧秣資材等殆ト被害ヲ見サリキ三月二十三日ヨリ

四月二十二日迄ニ於ケル損害尤ノ如シ

- 1. 人員戰死 准尉一、下士官三、兵七
- 2. 馬匹 兵器彈藥資材ナシ
- 3. 糧秣若干

二十二、三月二十五日新夕ニ独立二十六大隊(長豊福大尉)配屬セラレタルヲ以テ左如ク

位置セシメ陣地ヲ強化ス
本部 第一中隊 大里附近
第三中隊 資敵

二三、敵ノ上陸必至トナリシヲ以テ豊福大隊ヲ半額附近ニ配置シ陣地ヲ強化ス爾後ニ於
ケル軍隊区分老ノ如シ

第二中隊

南小地区隊ニ配属

北小地区隊(長 伊東大尉)

彼魯接防

第一大隊(第二中隊長 指揮元示隊也)

独立機関銃 第十七大隊 第二中隊

独立連射砲 第三大隊 第一中隊(一小隊也)

聯隊砲中隊(一小隊也) 計四

高射機因砲 三門

云、中小地区隊(長 滿尾大尉)

第三大隊(第十中隊長)一小隊、追撃砲半一小隊也

独立機関銃 第三大隊 第一中隊 第二中隊(一小隊)

聯隊砲 一小隊

中独立連射砲 一小隊

高遠砲 一小隊(三門)

南小地区隊(長 志村大尉)

第三大隊(第五中隊長)一小隊 第六中隊長 一小隊 機因銃 一小隊也

独立機関銃 第十七大隊 第一中隊(二小队)

連射砲 一小隊

野砲 一小隊

無線 一小隊

有線 一小隊

4、豊福大隊(長 豊福大尉)

独立第十七大隊(一中隊長)

大山大尉、指揮元步兵一中隊 二中隊

第三機因銃 中隊(一小隊)

独立機因銃 第三大隊(一小隊)

高射機因砲 二門

追撃手 半一小隊

5、聯隊直轄

聯隊本部(軍旗一小隊)

第六中隊長(一小隊)

通信中隊長(有線無線各一小隊也)

独立機関銃第三大隊(三中一小隊)
独立機関銃第十七大隊(中二小队)
野砲第一中隊(二小队欠)
師團七線一分隊

二十四、四月一日敵地上部隊ハ遂ニ嘉手紙北谷海岸ニ上陸ス其ノ兵力約六ヶ師團戰車
下師團上線セラル

島尻地区ニ於テ八月二十七日、八日、兩日ニ亘リ濠川ニ於テ敵ハ上陸ヲ揚動ス我地区ニ
於テ八米嶺海岸ニ於テ一部揚動シタルモ遂ニ上陸スニ至ラズ島尻地区ニ於テハ
最近迄は上陸ヲ企圖セザリキ

二十五、北谷附近ニ上陸シタル敵ハ遂次南下シ四月十日(2D)正面ノ攻撃ヲ開始シ四月二十日頃
敵ノ第一線ハ概テ棚原附近ノ線ニ進出セリ一方敵ハ四月六日一部ヲ以テ名護附
近ニ上陸シ八月其ノ主力ノ上陸ヲ見ルニ至リ又有力一部ハ四月十六日伊弉島ニ
上陸シ逐次席卷ス中頭地区ノ一部ノ敵ハ因頭ニ進入セリ

二十六、四月十日独立機関銃第十七大隊(第一中隊欠)ノ配屬ヲトカレ該部隊ハ
翁長附近ニ轉進ス

二十七、四月十五日独立機関銃第十七大隊(第二中隊欠)ハ新ニ配屬セラレ左記ノ如ク配置

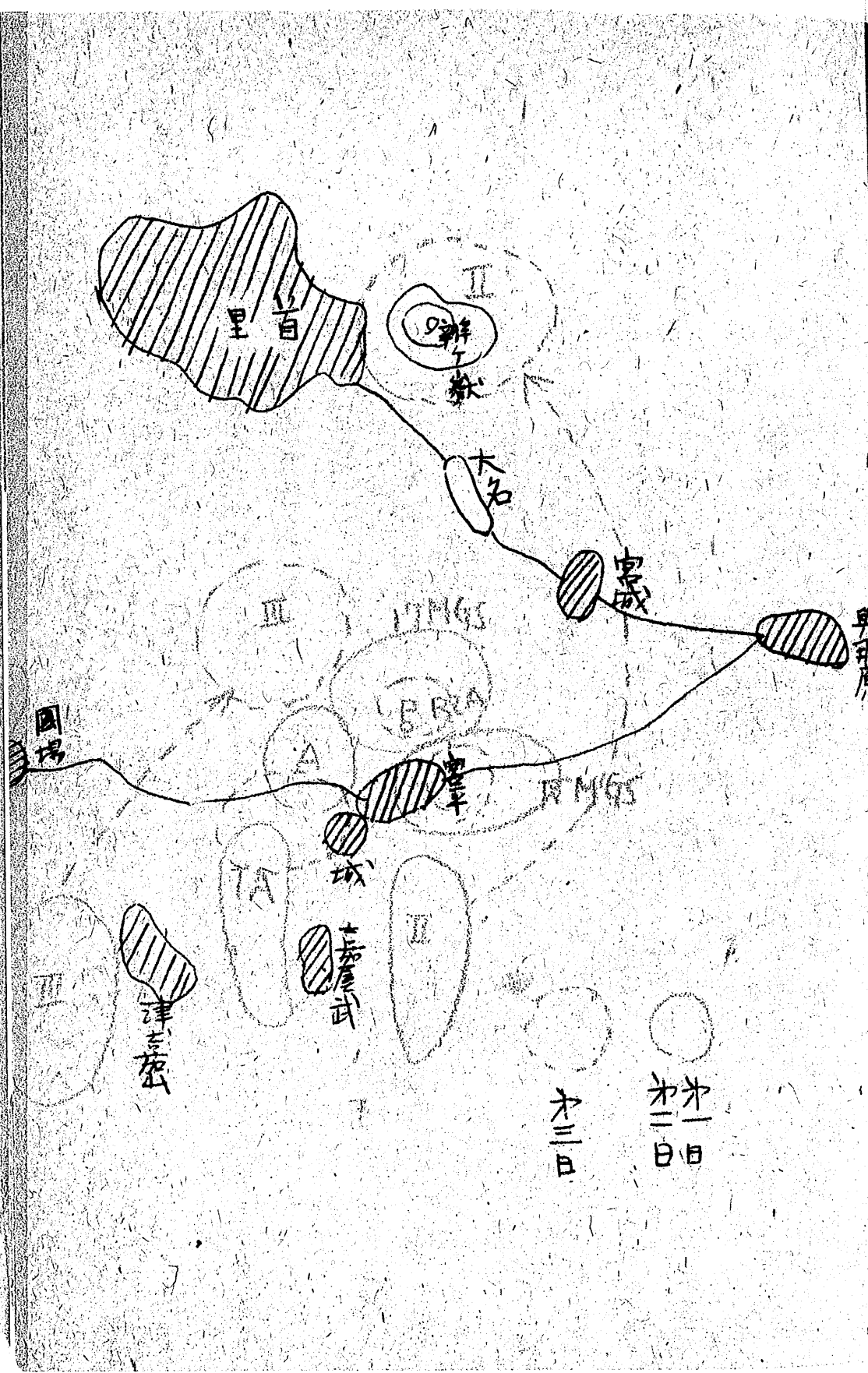
第三中隊 北小地区 隊ニ配屬
第一中隊(二小队) 南小地区ニ配屬
爾余 將隊直轄トシ迎撃ニ位置ス

二十八、師團命令ニ依リ十組ノ斬込隊ヲ翁長附近ニ差出シ(2D)長ノ指揮下ニシテ
該斬込隊ハ相当ノ戦果ヲ擧ゲタルモ幸敷ハ戦死スニ至リ

二十九、第二期 首里地区轉進ヨリ五月四日攻撃時期迄(自昭和二十年四月二十三日
至同 五月四日)

二十九、四月二十日安兵二大隊ヲ二十二日夜去飛首里南側地区ニ前進同地附近ニ潜伏
集結セシムベキ師團命令ヲ受領ス

依テ直生豊福大隊ニ配屬中ノ大山大尉ノ指揮スル二小队ヲ復歸セシメ第一
大隊(野砲中隊(二小队)ヲ屬)ヲ二十三日夜 賀茂附近ヲ去發セシム同部隊ハ
同夜首里南側新川附近ニ潜伏 二十三日夜師團直轄トナリ全夜艦砲追撃
砲彈ノ猛射中ノ小波津ニ到リ其ノ西北側高地ヲ占領ス 其ノ左翼ニハ
星三森三六八ノ大隊アリ 第二中隊ヲ第一線ニ第一第三中隊ヲ第二線トシテ
配置ス又前進部隊トシテ独立機関銃第三中隊山田小队ヲ小橋西側高地ニ配置
ス



三十一、伊東大隊ハ小波津附近ノ戦斗ノ戦果ニヨリ、師團長ヨリ賞詞ヲ授ケラル
 三十二、聯隊主力ハ師團命令ニ基キ、現警備地区ヲ特編第三聯隊長ニ引継ガレ、
 第三十二大隊ヲ同隊長ノ指揮下ニシテ、
 現警備地区ヲ離れ、津三原ノ各種砲弾下ニシテ、
 大ノ雨後ノ攻撃ヲ準備ス

優勢ナル敵艦砲射撃ヲ直撃シ砲弾ノ下陣地ナクニ夜作リハ、
 戦奮斗、敵ニ甚大ナル損害ヲ与テ、大隊モ亦多大ノ損害ヲ受テ、
 第二中隊ノ如キハ其ノ半数ヲ失フニ至レリ、四月二十五日、
 師團直轄ヲ解カレ、聯隊ニ復帰ス
 小波津附近ノ戦斗ニ於ケル、
 人員殺傷四〇。 戦車擱生炎上二四 大砲破壊一
 敵ニ与ル損害
 車輛破壊 六 銃器破壊四
 我軍損害
 死傷二〇(二中隊) 独機五。 其他六。
 大砲RA = MG四
 土田 勘

三十二、四月二十四日全地ニ於テ(長松井大尉)再ハ配属セラル

解隊主力ハ依テ現任務ヲ履行シマ、首里東南側附近ノ陣地ヲ堅固ナラシムル
目的ヲ以テ22ト交替シテ第三大隊(下込配属)ヲ以テ解隊南側地区ニ第三
大隊(MAS 12A 配属)ヲ以テ新川附近ヲ占領陣地ヲ構築シ爾後ノ戦闘ヲ準備ス
各部隊ノ処置宜キヲ得成列ル砲撃ノ下損害僅少ニシテ志気極メテ旺
盛ナリ未ダ地上ノ敵ヲ見ス

三十三、四月二十六日第三大隊ヲ以テ前田北端高地ノ為朝岩ノ質谷支隊ヲ救出シ同地ニ占
領確保ス(キ師團命令ヲ受領シ二十七日夜同大隊(配属部隊)ヲ以テ全陣地
附近ノ敵ヲ夜間攻撃シ全敵ヲ殲滅シ略確保シ得タルモ天明ニ其ニ熾烈ナル銃砲火
ヲ受テ死傷續出シ勝山西側高地ヨリ經塚北端攻撃ヲ受テ位置ニ後退シ之
ムキニ至リ全線ニ於テ更ニ攻撃ヲ準備ス
第三大隊ハ此ノ時既に其ノ兵力ノ大半ヲ失フ第三大隊(第九中隊)ヲ欠キ配属部隊
旧ノ更ニ(下込)ヲ配属)ハ第三大隊ノ後援トシテ首里北側地区ニ進出

三十四、四月二十八日新ニ(長 深身大尉)ヲ配属セラレ二十九日到着ス(五月三日配属ヲ解カレ)
同日解隊ハ主力ヲ以テ前田周辺地区ノ敵ヲ撃滅シ之ヲ確保ス(キ師團命令ヲ受領
シ左記要旨ノ命令ヲ下達ス

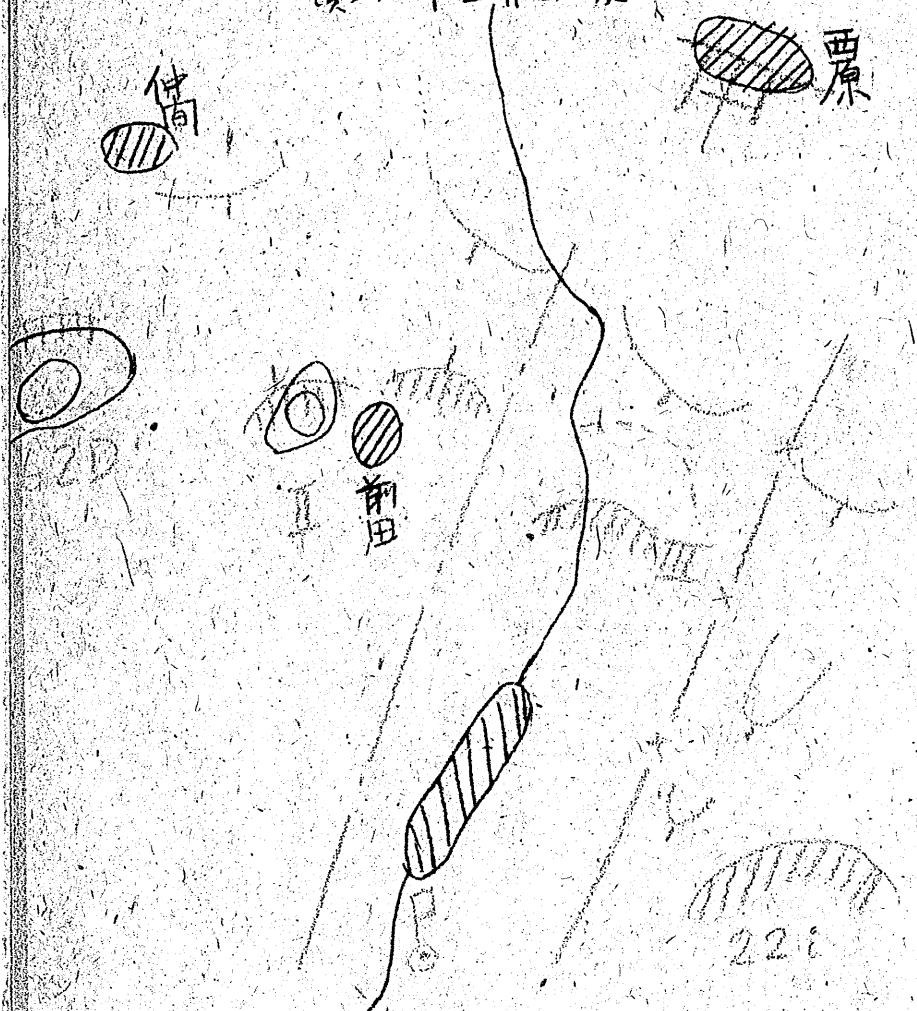
命令要旨

- 一、敵情支軍ノ状況 略ス
- 二、解隊ハ主力ヲ以テ前田周辺地区ノ敵ヲ撃滅シ全地ヲ確保セントス
- 三、五ハ右第一線トナリ前田東北端附近ノ敵ヲ撃滅シ全地ヲ確保ス(シ)
- 四、五ハ現在地附近ニ於テ左ノ一線トナリ前田西北端附近ノ敵ヲ撃滅シ同地ヲ確保
ス(シ)
- 五、確保ノ時期ハ三月十九日ニ時トス
- 六、五ハ五トテ第三大隊ノ戰鬥ニ計ハ五トテ第三大隊ノ戰鬥ニ協カス(シ)
- 七、A小隊ハ前田附近ノ敵陣地ヲ射撃
- 八、第一線大隊ノ戰鬥地境ハ勝山南端ニ又路一ノ原南端十字路ヲ連ル線トス
(線ニハ右大隊ニ属ス)

2 (3TAB)

前田附近戰鬥要圖

於四月二十八日



其狀況左記要圖如之

九、予公勝山西南側ニ在リ
十其他略ス

右命令ニ基キ各第一線部隊ハ行動ヲ開始シ第三大隊ハ敵陣中ヲ奪取シ
タルモ天明ト夫ニ敵ノ砲火ヲ受ケ死傷續出シ攻撃準備ノ位置ニ後退シ止
ムナキニ至リ全地ニ於テ爾後ノ攻撃準備ヨリ

第三大隊ハ其ノ攻撃成功ニ爲朝岩附近一帯ヲ占領シ全地ヲ確保シ同地ニ在リ
賀谷支隊ト連絡シ之ヲ救出シタルモ二十九日天明後全ク敵ノ爲包围セラル所ト
ナレリ

残存者約百名成甚傷者僅カニ五名ニ過キカ
各隊共攻撃準備ノ相宜短小ナリト地形ノ暗蔽十分ナク加フルニ洞窟内ナ
ク夕刻ヨリ晝ヲ振開利用スルノ止ムナキ爲中隊長以下約半數ノ死傷者ヲ出
シタルモ將校以下ノ志氣極ナテ旺盛ナリ爾後青田ノ攻勢後後退命令迄
一歩モ敵ヲ前進シ得サラレタリ

備考
一各第一線八敵ノ猛火ヲ受テ約半數ノ兵力ヲ失ヒタルモ士氣極ニ旺盛五月四日未だ後師團命令ニ基キ後退ヲ命ぜラレテ立敵ヲ一歩モ前進シ得ザリ

二十五、四月十九日第一大隊八師團直轄ノ任務ヲ解ケレ聯隊ニ復帰ス隊身大隊到着ス
二十六、敵八幸地及前田附近ノ陣地ヲ逐次奪取ス其ノ中間地区タル130、146高地ヲ奪取スルニ至リテ以テ22ノ戦地ニナリニ拘ラズ師團八十九日我々聯隊ヲ以テ之ヲ奪取セシム

命令ノ要旨
30日(土)日

一敵ハ120、146ニ進入セリ

二聯隊ハ此ノ敵ヲ撃テ滅スルト共ニ該地ヲ確保セントス

三第一大隊(配属旧ノ如シ)ハ右第一線トナリ三十日ニ至リテ是ノ右嶺方向ヨリ146高地ノ

高嶺ノ東ニ至リ奪取シ全地ヲ確保ス

四、隊身大隊ハ三十日ニ至リテ是ノ勝山北端ヨリノ高地ノ敵ヲ攻撃シ全地ヲ確保ス

五、第一線兩大隊戦地戦地境ハ幸地西端ノ勝山西南端ヲ連ル線トス

六、予ハ依然現所在地ニ在リ

七、其他略ス

各大隊ハ命令ニ基キ行動シ第一大隊ハ所命ノ如ク146高地ヲ奪取確保シタルモ隊身大隊ハ成功スルニ至ラズ勝山北端ニ後退ス

四月三十日夜、隊身大隊ヲ再ニ攻撃セシメタルモ成功セズ敵ハ逐次120高地附近ニ兵力ヲ増加ス

五月一日、三度隊身大隊及第二線大隊ノ一部ヲ以テ夜間攻撃セシメタルモ遂ニ成功セズ其ノ状況左記要図ノ如シ

此ノ頃、聯隊八戦地地区タル前田地区ヲ多大ノ死傷者ヲ出シテ敵ニ至大ノ損害ヲ与ヘテ之ヲ確保シ聯隊軍旗ノ先揮ヲ辱メザリハニ特異ノ奮斗努力ノ結果ニ至テ是ノ敵ヲ指ク能ハサル所ナリ此ノ際22ノ左翼ハ幸地南側高地120ノ右翼ハ仲間南側地区ニ在リテ前田地区ノ突角ヲ形成シテ是ニ敵ノ攻撃ハ猛烈ヲ極メタリ